



## 〇〇の秋

校庭のキンモクセイが満開の花を咲かせ、良い香りを周囲にただよわせています。朝夕の涼しさが一段と増し、登校時に校服を着てくる子が増えてきました。どちらの様子からも、秋の深まりが感じられます。この時期は一年の中で一番過ごしやすく、様々な行事や活動を学校でも行います。子供たちは、それぞれの活動に向けて目標をもち、その達成を目指して、ある時は元気いっぱい、またある時はじっくりと活動に応じて取り組んでいます。「やった」「できた」「がんばった」といった思いの積み重ねが、子供たちの成長の原動力になると考えます。時には、「できなかった」「くやしかった」ということがあるかもしれませんが、しかし、その中でも、「ここまでではできた」「このことはがんばった」と言えるものがあります。それらを自覚できるように支援していくことで、次へのステップにつなげていくことが大切だと考えます。

御家庭でも、お子さんの話に耳を傾け、認め、励ましていただけたらと思います。



**スポーツの秋** 部会陸上記録会 (5,6年)  
自己記録更新を目指して精一杯競技しました



**勉強の秋** 授業風景 (1,2年)  
集中して学習に取り組んでいます



**芸術の秋** 天竜地区音楽発表会 (3,4年)  
壬生ホールで素敵な歌声を披露しました



**実りの秋** 稲刈り (全校)  
5、6年が稲を刈り、他の学年が運びました



## 150周年記念行事 ～土井汀花先生のお話と揮毫(きごう)～

下阿多古小の先輩である書道家の土井汀花先生をお招きし、お話と揮毫(書道パフォーマンス)をしていただきます。以前より学校に関わってくださり「峰」「蹴」と「出逢いの一瞬ですべては決まる その時の為に心を磨いておくのだ 名刀のように」の書を寄贈していただいています。体育館、1年教室前に展示してあり、子供たちも日頃から目にしています。

150周年を記念し、書道家としての経験談や下阿多古に寄せる思い、子供たちに期待することなどについて、書道パフォーマンスを交えてお話をさせていただきます。

せっかくの機会ですので、保護者、地域の皆様にも、ぜひお越しいただけたらと思います。

<日時>令和5年11月16日(木) 13:35~14:20

<場所>下阿多古小学校 体育館

